



光る五中

Higashiyamato City Daigo Junior High School

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

第 8 号

〒207-0033 東大和市芋窪 5-1119

TEL 042-561-0050

FAX 042-590-7032

<https://5c.hyama.andteacher.jp>

パラダイムシフト

副校長 須田 直樹

3年生との面接練習時に、面接官役の私から「本校卒業後の進路はどのように考えていますか？」とお決まりの質問をすると「将来は学校の先生になりたいです。」という生徒が数名いました。理由を尋ねると「中学校の授業で友だちとの話し合いがとても楽しかったので、自分も楽しい授業をやりたい」「自分が説明した時にわかりやすいと言われて嬉しかった」と「授業の体験」がきっかけになっているという話がありました。

五中の授業を見ていると、iPadを使用した意見交換、教室内を立ち歩いてグループ学習やペア学習、課題別学習など、多様な学習方法が実践されています。3年生の卒業探求においても、クラスの枠を超え学年の中でのテーマ別グループ活動に取り組んでいるなど、多様な授業形態を目にします。

以前の学校では特に規律が重要視（今も重要ですが）されていたため、いかに私語がなく静かに先生の話聞けるか、先生の発問に元気よく答え、みんな同じペースで学習していく、などがよい授業の典型とされていました。

「授業」＝「先生が教える」「生徒は教わる」、というのが日本における通説でしたが、今は

「授業」＝「生徒が学ぶ、かつ学び方を学ぶ」「先生がサポートする」、ものと大きな変換がされています。30人以上がいる教室の中で、多様な子たちが、多様な学び方をしていく、先生はそれをサポートし、誰一人取り残さない個別最適な授業が求められています。

この背景には、国や都の大きな方針として、知識はネット検索で一瞬でわかるこの時代に、これまでのような知識を詰め込むことに特化した授業からの脱却を図り、今後も激変していく社会を生き抜くために、自ら学ぶ姿勢、学び続ける姿勢、学び方、を習得させる必要がある、という考え方からくるものです（ざっくりまとめとです）。この方針により、大学入試改革も行われたり、学校の評価の観点が現行の3観点に変わったりと、身近なところにも多くの影響があります。

しかし、先生たちもそのような授業を受けてきていないため「ベストな形」を模索している毎日です。先生が延々と説明する授業ではなく、生徒に学びたいことを^{ゆだ}委ねた方がいい、という手法がよく紹介されています。ただし、「委ねる」ことは一步間違えると「放任」や「丸投げ」になってしまい、生徒は結局何をしたいかわからず、習得すべき知識や技能が定着しないといった、学力向上どころか逆効果にも成り得ます。また、手法ばかりにとらわれてしまい授業の目的が達成されていない、ということも起こり得ます。

子ども（特に幼児期）の時は、すぐに「なんで？」と疑問に感じたことを口にします。「なんで魚って水の中で生きられるの？なんで月って夜は光るの？なんで電話って遠いところにいる人と話せるの？」など私も多くのなんで攻めにあったことがあります。自分の知りたいことを学ぼうとすると楽しいのに、1日6時間の授業を受けると、受け身になってやらされている感じがしてしまうのも否めません。

明治時代から根強く残る、先生が知識を教えこむ一斉一律の授業から「生徒の主体性を育む授業」「生徒の学びをサポートする授業」へのパラダイムシフト（これまでの常識が劇的かつ根本的に変化）する時代に直面しています。これらの授業改善は五中に限らず全国の先生たちが直面している大きな課題の一つとも言えます。五中生が将来社会で活躍していく力を少しでもつけていけるように、先生たちも学び続けている毎日です。そして、学び続ける姿こそがこれからの社会で活躍していく重要な力となります。いつも元気が溢れている五中生といっしょに、先生たちも学び続け、生徒と共に成長し続けていく学校でありたいと思います。

●スケアードストレート

11月20日(木)スタントマンによる交通事故を再現するスケアードストレートを実施しました。自転車に乗る時の傘さしやスマホのながら運転・並走などの危険性、車と自転車の事故を目の前で体験して、交通ルールを守ることの大切さを改めて感じました。



●2年出前授業（社労士、弁護士）



社労士

社労士の方をお招きし、社労士の仕事内容や「はたらく」ことの意味、中学生の今できることは何かを学びました。



弁護士

弁護士の方をお招きし、弁護士とはどんな仕事をするのか、仕事の魅力、弁護士としての今後の夢などのお話を聞きました。

●地域清掃ボランティア



12月13日(土)、第七・九地区青少対主催の五中学区地域清掃で、地域のごみ拾い活動を行いました。五中から20名以上の生徒と、教員も参加しました。

●生徒の活動報告

令和7年度全国中学生人権作文コンテスト東京大会

特別優秀賞(全日本空輸株式会社賞)

「家族と暮らすのはあたり前じゃない」

羽田空港で表彰式が行われました。



中学生の「税についての作文」 市長賞

「税金は私たちの今と未来を支えている」

市役所にて、和地市長より表彰を受けました。



●1月の予定

1月 7日(水)冬季休業(終)
8日(木)始業式
14日(水)専門・中央委員会
20日(火)生徒会朝礼

1月22日(木)新入生見学・説明会
24日(土)・25日(日)連合書き初め展
26日(月)27日(火)都立推薦入試
29日(木)三校交流会 給食なし